2021. 10. 7　　専攻会議により改訂

2023. 2. 17　　専攻会議により改訂

学位授与申請書　作成上の注意

この例はMicrosoft wordの書式によって作成されたものです。この書式に準じて「学位授与申請書」を作成してください。【赤文字】は不要ですので，消してください。

* 申請に先立って，学事要項3ページ「博士学位論文の形式と公表の方法および審査について」、および、146ページ「3. 博士学位申請手続き」を熟読してください。
* 「学位授与申請書」は，地球惑星科学専攻（地球物理学分野）専攻会議において論文審査に用いられるものです。
* 「学位授与申請書」は　A4　２ページ以内に収めてください。
* レイアウト：　余白は上下左右20mm，48文字×48行です。この程度のマージン，行数・文字数で作成してください。
* フォント：　例では10.5ポイントのMs明朝体及びTimes New Romanを使用しています。この程度のフォントサイズとしてください。
* 学歴：　大学卒業から記載してください。修了，卒業，単位取得退学，単位認定等に関して，日付を正確に記載してください。
* 職歴：　リサーチ・アシスタント，リサーチフェローは記載してくださいオフィス・アシスタント，ティーチング・アシスタントは記載しなくてかまいません。採用・退職日等，よく確認してください。
* 研究歴：　日本学術振興会特別研究員（DC1, DC2）はこちらに記載してください。採用・退職（予定）日等をよく確認してください。
* 主論文の基礎となる論文：　その本質的内容が主論文の基礎の一部をなす論文です。公表された論文（公表済み、もしくは受理済み）および投稿中の論文と，投稿準備中の論文とに分け，例を参考に論文名・掲載（投稿）誌名（掲載，掲載予定，受理，投稿（投稿時期も記載），投稿予定（投稿予定時期も記載））・著者名の順に記載してください。巻・ページ・発行年やdoiがある場合はそれらを記載してください。著者名は原則として全員記載するものとし，申請者を含め掲載順に記載してください。ただし著者が5名以上の場合は以下の例のように記載してください。（以下の例は著者が全員で10名の場合です。）なお，投稿準備中の論文以外は別刷（もしくはコピー）や投稿原稿，共著者の承諾書の提出が必要になります。また，受理済みで公表されていない論文がある場合には、受理を示す文書の提出が必要です。

【著者5名以上で，申請者「地球太郎」が筆頭著者である場合】

地球太郎・他（10名の共著）

CHIKYU, Taro, et al. （10名の共著）

【著者5名以上で，申請者「地球太郎」が筆頭著者でない場合】

火星花子・他（10名の共著．地球太郎は第4著者）

KASEI, Hanako, et al. （10名の共著，CHIKYU Taroは第4著者）

* 参考論文：　申請者が当該研究科等の在籍期間中に公表した，あるいは公表予定の「主論文の基礎となる論文」以外の論文です。申請者の研究活動を示すものとして，主著者・共著者を問わず，査読の有無に関わらず，提出することができます。
* 主論文の要旨：　主論文の要旨を，日本語，または英語で記載してください。日本語の場合は500文字程度，英語の場合は150語程度で記載してください。文字数の程度は守ってください。字数を守っていない場合は書き直しを依頼します。なお，図表を使うことはできません。

以上

学　位　授　与　申　請　書

【1行空ける】

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ふ　り　が　な　ちきゅう　たろう

氏　　名　地球　太郎

生年月日　平成XX年XX月XX日

【1行空ける】年号は、日本人は和暦、外国人は西暦で記載してください。

学　　歴

平成XX年XX月XX日　○○大学○○学部卒業【日付を確認してください】

平成XX年XX月XX日　京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻地球物理学分野修士課程入学

平成XX年XX月XX日　同　修了【日付を確認してください】

令和XX年XX月XX日　京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻地球物理学分野博士後期課程進学

【他大学院修士課程から当研究科博士後期課程に入学した場合は，編入学，と記載してください。】

令和XX年XX月XX日　同　研究指導認定見込み

【1行空ける】

職　　歴

令和XX年XX月XX日　京都大学大学院理学研究科　リサーチアシスタント　採用

令和XX年XX月XX日　同　退職【退職日付を確認してください。】

【1行空ける】

研　究　歴

令和XX年XX月XX日　日本学術振興会特別研究員（DC1）　採用（令和XX年XX月XX日まで（予定））

（令和XX年XX月XX日　同　退職【退職日付等を確認してください。】）

【1行空ける】

主論文

１．題目

タイトル（和訳）【英文タイトルの場合は和訳を括弧付きで記載。和文タイトルの場合はそれのみを記載してください。】

２．公表の方法・時期

 学位授与後に「令和XX年度　地球惑星科学専攻・地球物理学分野　博士論文集」に掲載【年度に注意してください。】

３．冊数　　１冊

【1行空ける】【形式（1）（学事要項3ページの1.イ参照）での申請の場合、「主論文の基礎となる論文」の記載は不要。参考論文から記載】

主論文の基礎となる論文　【作成上の注意を参照すること。】

公表された論文　△編　【公表済み、もしくは受理済みの論文。ここに挙げた論文は論文の別刷または相当物と共著者の承諾書を提出してください。受理済みの論文については、論文の別刷または相当物と受理を示す文書を提出してください。】

　　【論文名・掲載誌・巻・ページ・発行年等（xx年yy月掲載，掲載予定，受理）・著者名の順に記載。申請者も含めて著者は掲載順に全員記載することを原則とする（後述「作成上の注意」参照）。巻・ページ・発行年やdoiがある場合は記載する。以下1～3が記載例。】

1．固体地球と大気圏地球との関係，○○，○巻，□～□（2020年2月掲載）．

　　　　地球太郎・火星花子

2．The relationship between solid earth and atmospheric physics, *International Journal of Geophysics*, **XX**, XXXX-XXXX, doi:10.xxxx/yyyy0000（2020年12月掲載予定）．

CHIKYU, Taro, Jiro TSUKI, and Hanako KASEI

3．The relationship between solid earth and atmospheric physics, *International Journal of Geophysics*, doi:10.xxxx/yyyy0000（2020年12月受理）．

CHIKYU, Taro, Jiro TSUKI, and Hanako KASEI

投稿中の論文　△編　【公表された論文からの通し番号を使う。ここに挙げた論文は投稿原稿と共著者の承諾書を提出してください】

　　【論文名・投稿誌名・投稿日（××年××月投稿）・著者名の順に記載。申請者も含めて著者は掲載順に全員記載することを原則とする（後述「作成上の注意」参照）。以下4，5が記載例。】

　　4．固体地球と大気圏地球との関係，○○（××年××月投稿）．

　　　　地球太郎・火星花子

5．The relationship between solid earth and atmospheric physics, *International Journal of Geophysics*（××年××月投稿）．

CHIKYU, Taro, Jiro TSUKI, and Hanako KASEI

投稿準備中の論文　△編　【ここの論文は、原稿や共著者の承諾書の提出が不要。通し番号は使わず、A, B, C, …とラベルする。】

　　【予定論文名・投稿予定誌名・投稿予定日（××年××月投稿予定）・著者名の順に記載。申請者も含めて著者は掲載予定順に全員記載することが原則（後述「作成上の注意」参照）。以下A，Bが記載例。】

　　A．固体地球と大気圏地球との関係，○○（××年××月投稿予定）．

　　　　地球太郎・火星花子

B．The relationship between solid earth and atmospheric physics, *International Journal of Geophysics*（××年××月投稿予定）．

CHIKYU, Taro, Jiro TSUKI, and Hanako KASEI

【1行空ける】

参考論文　○編　【参考論文とは、「主論文の基礎となる論文」以外の申請者の論文（主著者・共著者を問わない、査読の有無を問わない）です（後述「作成上の注意」参照）。〇編の数には、「主論文の基礎となる論文」は含みません。】

1. ・・・

2. ・・・

【1行空ける】

主論文の要旨

500字程度で記載してください（英文の場合は150語程度）．

文字数もしくはワード数を守ってください．

学　位　授　与　申　請　書

出来上がりの例

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ふ　り　が　な　ちきゅう　たろう

氏　　名　地球　太郎

生年月日　平成 6年10月23日

学　　歴

平成29年 3月26日　京都大学理学部卒業

平成29年 4月 1日　京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻地球物理学分野修士課程入学

平成31年 3月25日　同　修了

平成31年 4月 1日　京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻地球物理学分野博士後期課程進学

令和 3年 3月31日　同　研究指導認定見込み

職　　歴

平成31年 6月 1日　京都大学防災研究所　リサーチアシスタント　採用

令和 2年 1月31日　同　退職

研　究　歴

令和 2年 4月 1日　日本学術振興会特別研究員（DC2）　採用（令和 4年 3月31日まで（予定））

主論文

１．題目

New investigation on Earth （地球に関する新たな調査）

２．公表の方法・時期

 学位授与後に「令和 2年度　地球惑星科学専攻・地球物理学分野　博士論文集」に掲載

３．冊数　　１冊

主論文の基礎となる論文

公表された論文　3編

1．固体地球と大気圏地球との関係，地球研究，10巻，100～120（2020年2月掲載）．

　　　　地球太郎・火星花子

2．The relationship between solid earth and atmospheric physics, *International Journal of Geophysics*, **20**, 300-320, doi:10.1234/56780000（2020年12月掲載予定）．

CHIKYU, Taro, Jiro TSUKI, and Hanako KASEI

3．Oscillations of Earth, *International Journal of Geophysics*, doi:10.5678/123450000（2020年12月受理）．

CHIKYU, Taro, Jiro TSUKI, and Hanako KASEI

投稿中の論文　2編

　　4．固体地球と海洋との関係，地球科学（2021年1月投稿）．

　　　　地球太郎・金星次郎

5．The relationship between earth and mars, *International Journal of Geophysics*（2021年3月投稿）．

TSUKI, Jiro, et al.（9名の共著．CHIKYU Taroは第5著者）

投稿準備中の論文　2編

　　A．固体地球が電離圏に及ぼす影響，電離圏研究（2022年 5月投稿予定）．

　　　　地球太郎・他（7名の共著）

B．New method in atmospheric physics, *International Journal of Geophysics*（2022年 6月投稿予定）．

CHIKYU, Taro, and Jiro TSUKI

参考論文　2編

1. ・・・
2. ・・・

主論文の要旨

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○

・・・・・・

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○